

『耕人塾』塾生に贈る言葉

平成25年度の『耕人塾』も本日の第11回研修会で終了になります。学校行事等で忙しい中、自らの人間力を磨くためによく頑張りました。『耕人塾』で磨いた人間力を地域や社会のために発揮されることを期待いたします。私の好きな相田みつをの詩「こんな顔で」を贈ります。

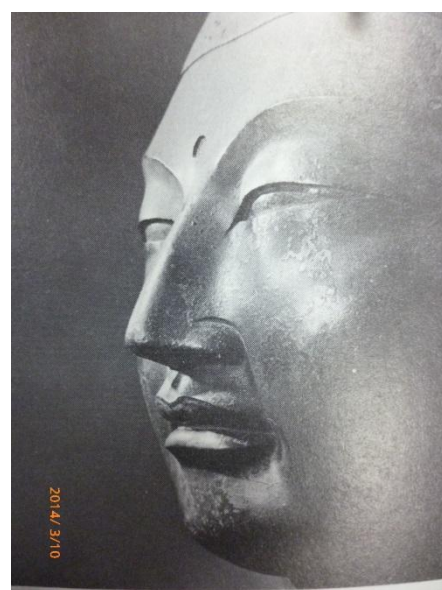
「こんな顔で」 山田寺の仏頭によせて 相田みつを

宮沢賢治の詩にある「雨ニモマケズ 風ニモマケズ」

というのは
こんな顔の人をいうのだろうかー

この顔は
かなしみに堪えた顔である
くるしみに堪えた顔である
人の世の様々な批判に
じっと堪えた顔である
そして
ひとことも弁解をしない顔である
なんにも言いわけをしない顔である
そしてまた
どんなにくるしくても
どんなにつらくても
決して弱音を吐かない顔である
絶対にぐちを言わない顔である

そのかわり
やらねばならぬことは
ただ黙ってやっていく、という
固い意志の顔である
一番大事なものに
一番大事なのちをかけてゆくー
そういうキゼンとした顔である



この眼の深さを見るがいい
深い眼(まなこ)の底にある
さらに深い憂いを見るがいい
弁解や言いわけばかりしている人間には
この深い憂いはできない

息子よ
こんな顔で生きて欲しい
娘よ
こんな顔の若者と
めぐり逢って欲しい

平成26年度の第3期『耕人塾』を計画中です。これまでの反省を生かし、講話の他に課題研究や体験研修などを盛り込み、「人間力」を磨くためのより充実した研修にしていきたいと思っています。また、夏休みの宿泊研修は自然体験や交流の場も設定し、楽しく有意義なものになるよう工夫したいと思っています。来年度も『耕人塾』に是非参加してみませんか。